

ecoティーチャー養成校 受講者募集

県、45歳以上を対象に

県は、社会経験を積んだシニア世代に環境学習の講師として活躍してもらおうと、新たに四十五歳以上の県民を対象に「あいちecoティーチャー養成校」を開く。環境に関する基礎知識や講座づくりのポイントを学んでもらい、県東大手庁舎（名古屋市中区）内の「あいち環境学習プラザ」などで開く講座で講師を務めてもらう。

県は二〇〇五年の愛知万博などを機に、児童生徒や大学生、社会人向けの環境学習の講座を開いたり、長久手市の愛・地球博記念公園内にある学習施設「もりの学舎」を活用した自然体験などを企画したりしてきた。多くの場合、講師は県職員らが務めてきたが、各地

域、世代への意識の広がりにも期待し、ボランティア講師の養成に初めて取り組むことにした。

七月二十八日にプラザで開校式と第一回講座があり、理科教育が専門の愛知教育大の大鹿聖公教授らが登壇。十月までに計五回あり、冬休み中の十二月下旬には小学生向けに実際に講演してもらう。来年三月の修了式であいちecoティーチャーとして認定する。

受講は無料。原則全ての日程に参加できることが条件で定員三十人。参加希望者は二十九日までにメールかファクス、郵送で申込用紙を事務局（フルハシ環境総合研究所内）に提出する。☎県環境活動推進課 052（954）6208

（安藤孝憲）